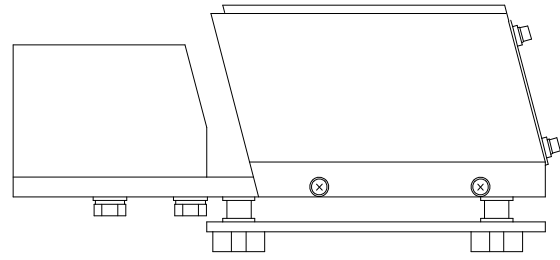


直進フィーダ NCK型シリーズ

取扱説明書

[NCK-15/NCK-20/NCK-40/NCK-60]

この度は、直進フィーダNCK型(半波仕様)をお買い上げ頂き、有難うございます。正しくご使用頂くために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。なお、お読みになられたあと、いつでも見られる所に大切に保管して下さい。



1. 安全上のご注意

- ◇ 不測の事故を回避するために！
設置・運転・保守などの作業をする時は、この「取扱説明書」を繰り返し熟読してから、作業を行って下さい。
- ◇ パーツフィーダとその周辺機器は、高度の技術を利用して作製されています。保守・調整は、責任者を選任し、作業は取扱責任者の監督のもとに行ってください。
- ◇ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫度を明示するため、誤った取扱いによって生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

⚠ 警告	誤った取扱いをした時に死亡または重傷を負う可能性があるもの。
⚠ 注意	誤った取扱いをした時に使用者が傷害を負う、または物的損害の可能性のあるもの。

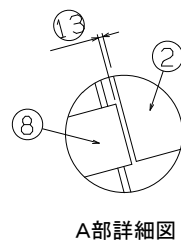
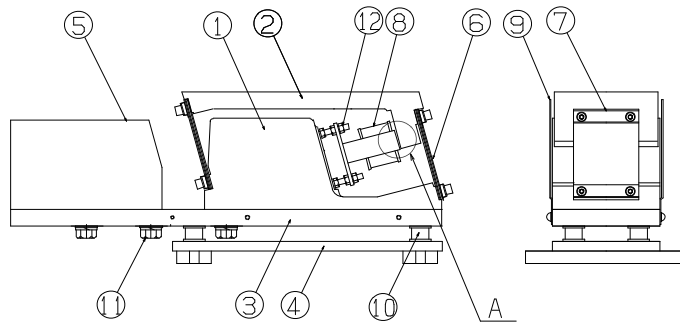
⚠ 警告
<ul style="list-style-type: none"> ● 感電事故を避けるために下記の項目をお守り下さい。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 水や油が入ったり、濡らしたりしないように注意して下さい。 2. 高温多湿(噴霧状態含む)の環境で使用しないで下さい。 3. 配線作業時は、必ず電源を切ってから実施して下さい。 4. アース線は必ず接続して下さい。 ● 爆発性の雰囲気(揮発性有機溶剤等を使用している場所)で使用すると、火災や爆発事故を引き起こす恐れがあります。 (なお、本製品は防爆仕様ではありません)

⚠ 注意	
・	パーツフィーダならびに、その周辺機器・設備の移動は、重量運搬です。腰などを痛めないように、運搬機を使って下さい。
・	電気制御は、各機器の組合せと仕様内容によって、コントローラの機種と組合せが異なります。コントローラの「取扱説明書」をよく読んでからご使用下さい。
・	過電圧は、「パーツフィーダ関連機器」の「電磁石」焼損事故になります。カバーのシールに記載の電圧領域でご使用下さい。
・	「エアギャップ」(可動コアと電磁石のスキマ)が広いと発熱します。エアギャップの基本寸法は「4-3. エアギャップ調整」にてご確認ください。(機種によって異なります)
・	調整並びに保守点検をする時は、電源を切ってください。電源をONにしたままボルト・ナットを緩めると指詰め事故になります。
・	振動機器を持ち運びする時は、底面を持って下さい。外部から強い衝撃を与えたり、反対向きにぶら下げたりすると変形や変調を生じることがあります。
・	パーツフィーダに当社以外でツーリングなどの加工・改造などが、当社の許可無く加えられ、それに起因する物的・人的損害について当社は責任を負いません。
・	パーツフィーダやシュートで詰まったワークを取除く時は、金属製の工具を使用しないで下さい。変形やワーク詰まりの原因になります。取り除く作業は樹脂製や木製の工具を使い、静かに行ってください。
・	電磁石の種類は電源引出し線の色で、適した電圧が判るように色分けしています。 AC100Vの場合・ネズミ色(グレー) AC200Vの場合・青色(ブルー)
・	パーツフィーダには、全波仕様や半波仕様等があります。本型式の場合、コントローラの「全波/半波切替スイッチ」を「半波」に切替えて下さい。
・	製品の耐用寿命・保証(期間)については、実働諸条件によって異なるため、当方として算定しかねますので、ご了承下さい。

2. 各部名称・寸法

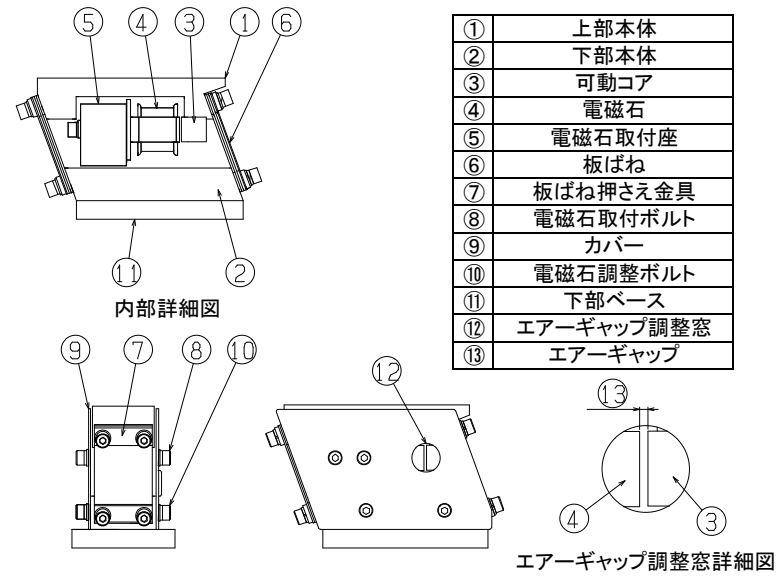
【2-1. 各部名称】
NCK型のうちNCK-15については、振動本体部にNCH-2を使用していますので、構造が他と異なります。但し、振動本体部以外の構造は同じです。ここでは、NCK-20、40、60の構造と、NCK-15のうちNCH-2の部分の構造について記載致します。

<NCK-20, 40, 60>

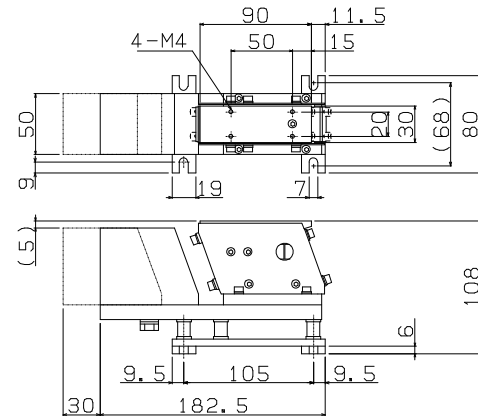


①	本体
②	上部本体
③	下部本体ベース
④	ベース
⑤	カウンターウエイト
⑥	板ばね
⑦	板ばね押さえ金具
⑧	電磁石
⑨	カバー
⑩	防振ゴム
⑪	カウンターウエイト取付ボルト
⑫	電磁石調整ボルト・ナット
⑬	エアギャップ

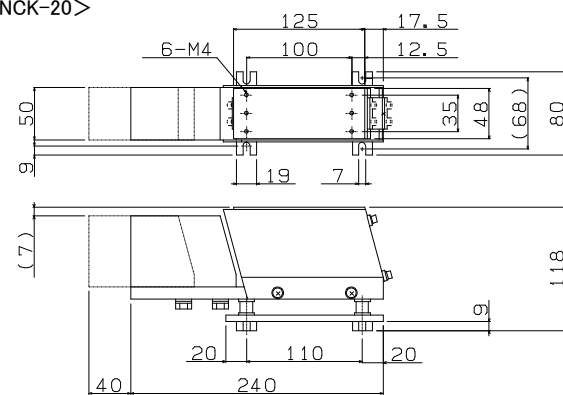
<NCK-15> (NCH-2)



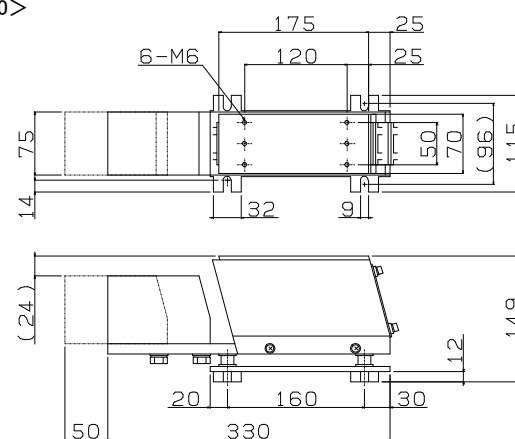
【2-2. 寸法】
<NCK-15>



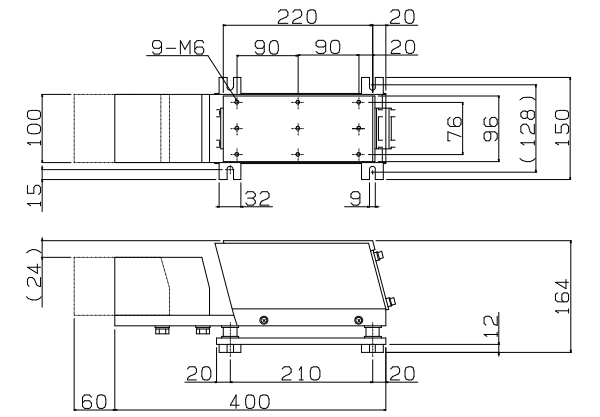
<NCK-20>



<NCK-40>



<NCK-60>



3. 設置・シュート取付・運転

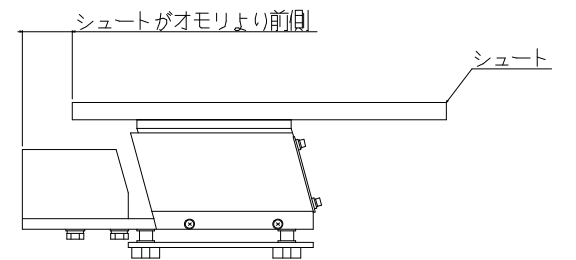
- 【3-1. 設置】**
- 設置する際は、がたつきの無い安定した架台等に設置して下さい。
 - 直進フィーダのシュート出口と次工程部(エスケープ部等)のつなぎ目は、振動による当たり音が発生しない程度の隙間を開けて下さい。
 - 設置する位置が決まりましたら、ベースをねじ止めて固定して下さい。
 - 専用コントローラと電磁石を配線して下さい。
接続方法の詳細は、別紙「コントローラ取扱説明書」をご確認ください。

注意

- ・不安定な架台に設置すると、運転した際に振動が逃げ、変則・異常振動の原因となります。
- ・ベースをねじて固定しない場合、振動で直進フィーダが移動し、ワーク詰まりや部品破損等の原因となります。
- ・直進フィーダのシュート出口と次工程部のつなぎ目に隙間が無い場合、振動時に干渉し、変則・異常振動や部品破損の原因となります。
- ・配線作業は、誤った配線を行うと感電事故や故障の原因となります。

【3-2. シュート取付】

- 各機種に対するシュートの標準長さや許容重量は、下記の表をご確認ください。
- シュートの取付方によっては、シュート上の前後でワークの動きが不規則になります。
- シュートを取付ける際は、シュート後端がカウンターウエイト端面より前側になるように取付けて下さい。(下図参照)
- カウンターウエイトより後ろにシュート後端が位置している場合、ワークの動きがシュートの前後で異なります。
※ この場合は、カウンターウエイトを後側にずらして下さい。カウンターウエイトの位置調整は「4. 調整」をご参照下さい。



機種	標準長さ(mm)	許容重量(Kg)
NCK-15	300~350	1.2~1.5
NCK-20	350~400	1.5~2.0
NCK-40	400~600	2.0~3.0
NCK-60	600~800	3.0~4.0

注意

- ・シュートの取付位置が悪いと、ワークの停滞や逆走の原因となります。
- ・シュートが許容重量や標準長さを超えている場合、電磁石が過負荷によって破損したり、変則・異常振動の原因となります。

